真野小だより

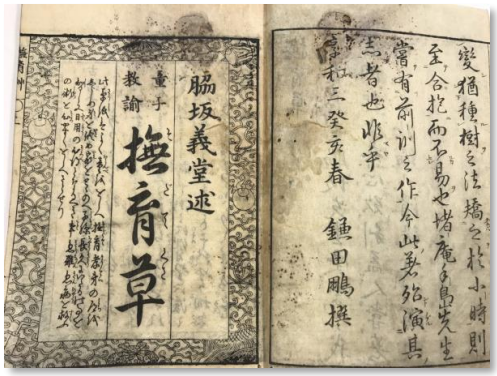
児童数：４６３名
Ｎｏ．１２
令和４年１０月１４日発行

学校教育目標『あかるく　やさしく　たくましく』

撫育草（そだてぐさ）

「〇〇の秋」と言われるように、日ごとに季節の訪れを感じるようになってきました。地面の露が寒冷にあって凝結しようという二十四節気の「寒露」が過ぎ、朝晩は肌寒く、寒暖の差が激しい時は体調を崩しやすいものです。衣服による調節や十分な睡眠をとる等体調管理に十分気を付けて過ごして欲しいと思います。

さて、成長していくわが子を見ていると、ときに子育てはうまくいっているのか、ふと不安がよぎることもあるのではないかと思います。子育ては永遠の課題です。



江戸時代にも多くの育児書や教育書が書かれていました。その１つに江戸末期に編まれた「撫育草（そだてぐさ）」という書があります。厳格に育てようとする武家の習いとは異なり、町人向けの童子教訓です。

「温和にそだつる方に及（し）くはなし」。悪事を折檻（せっかん）で罰するより、善行をほめた方が幼心にもうれしく、心豊かな子に育つという考え方です。もちろん、嘘やわがまま、稽古事を怠けることなどは厳しく戒めました。父親目線で書かれたものですが、現代でも十分に通用します。

今や全国に広がる現代版「撫育草（そだてぐさ）」があります。

（１）乳児はしっかり 肌を離すな　（２）幼児は肌を離せ 手を離すな
（３）少年は手を離せ 目を離すな　（４）青年は目を離せ 心を離すな

という「子育て四訓」。山口市で中学校長などを務めた緒方甫氏が長年の経験を基にまとめたものです。子どもたちの健やかな成長と家庭教育の大切さについて、この短い文から、たくさんの示唆を感じることができます。

小学校時代の子どもたちに当てはめてみると、１・２年生は幼児期後半、３～６年生は少年期に当たります。幼児は、乳離れはしますが、一気に離すのではなく、常に親がそばにいるところで「心配しなくてもいいよ」という安心感を与えることが大切。周囲のものに注意や関心を持ち、自立のための第一歩の段階です。その意味では、自立に目覚める幼児期は、完全保護から社会に向いて一歩を踏み出す時期と言えます。少年は、友だちとの付き合いによって社会性が育つ時期なので、しっかり手を離し、活動範囲を広げてやらないといけません。ただし、いろいろな危険があるので、目を離してはいけない。この時期の子どもは、親に反抗したり、問題行動に走ったり、いろいろなことで苦しい思いをするかもしれない。しかし、それは成長の過程であり、親として逃げずに、共に成長することを心がける必要があります。子どもの荒れの背景には、親や友だちに「こっちを向いてほしい」というメッセージが隠されていることが多いからです。

小学校は６年間というとても長い期間です。しかし、子どもたちの教育は学校だけでできるものではなく、家庭との連携・協力が不可欠です。「いじめ」をはじめとして、正面から取り組んでいかなければいけない課題がたくさんあります。こうした課題に加え、現在のコロナ禍、良い解決と子どもたちが安心して学べる学校づくりのためにも、これまで以上に学校と家庭が手を取り合っていく必要があると考えています。

価値観が多様化し、時代が変化しても手放せないものがあると思います。昔も今も変わらぬ不易なものを大切にしていきたいと思います。引き続き、本校の教育活動にご理解・ご支援をよろしく申し上げます。

「愛校活動」のお礼・体育学習参観に向けて

１０月５日に実施していただいた「愛校活動」に多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。運動場および周辺がとてもきれいになりました。

体育学習参観を来週末に控え、どの学年も学習を積み上げています。週間予報では、週明けはあまり良いお天気ない予報ですが、１０月２２日当日、お天気に恵まれ、これまでの学習の成果を保護者の皆様にご覧いただけることを祈っています。

１年

２年

３年

４年

５年

６年

全国学力・学習状況調査の結果から

４月１９日に実施した全国学力・学習状況調査の分析結果から、一部抜粋してお知らせします。尚、今後の指導上の改善点等を含めた「我が校の強み弱み分析・評価シート」を、後日本校Ｗｅｂページにを掲載致しますので、ご確認いただければ幸いです。【強み…○・弱み…●】

【国語】

○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を推敲する問題において県平均を上回った。

●文や文章の中で当該学年までに配当されている漢字を正しく使う問題や示された条件に合わせて解答する問題において課題が見られる結果となった。

【算数】

○乗法でかけられる数に空位のある計算をする問題において、県、全国平均を上回った。

○表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目してある項目にあたる数を求める問題において県平均を上回った。

●百分率で表された割合を分数に表したり、割合を計算で求めたりする問題において課題が見られる結果となった。

【児童質問紙】

○将来の夢や目標を持っている、人の役に立つ人間になりたいと思うなど自分の将来に理想をもっている児童が多い。

●県や全国平均と比べ学校の授業時間以外に家庭で学習している時間が短い児童が多い。

随時更新しています！真野小学校Webページをご覧下さい！

学校行事や学習活動の様子を随時紹介しています。是非ご覧下さい。

真野小学校　検索

ＵＲＬ：http://www.otsu.ed.jp/mano-e/